

指導時期	単元	教材名	配当時数 ()内は含まれる領域の時数	教材目標	学習活動の流れ	学習指導要領との対応		評価の観点の例
						知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	
4月	私が「私」であるということ	春に	1	●言葉の中の春を読む。	1 「この気もちはなんだろう」という表現が繰り返されていることの効果について話し合う。『春に』に表されている「気もち」の中から今の自分の気持ちと近いものを選び、その理由を説明する。	(1)イ	C (1)ウ C (2)イ	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C (1)ウ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
		立ってくる春	3	●文章の種類を踏まえ、その展開の仕方に着目して、筆者の個性的な考えを捉える。	1 「学びナビ」を読み、独自の見方考え方や固有の経験が書きつづられる随筆という文章の特徴について理解する。 2 『立ってくる春』に表現されている「私」の気持ちについて考える。「私」が「立つ春」に対して抱いているイメージ(見方考え方)を整理する。 3 「立夏」「立秋」「立冬」を「かたち」に表すとしたらどうなるか、考えたイメージをクラスで交流する。	(1)ウ	C (1)ウ C (2)イ	【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C (1)ウ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
		なぜ物語が必要なのか	3	●文章の種類と特徴について理解を深める。 ●知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。	1 「学びナビ」を確認する。筆者(「私」)がどのような問いを挙げ、どのような例をもとに答えを導いているか整理する。「洋二郎さん」、「アンネ」それぞれにとっての「物語」の役割についての筆者の考えを捉える。 2 読者にとっての「物語」の役割について筆者の考えを本文の言葉を使って説明する。 3 筆者の「物語」に対する考え方について自身の経験を振り返りながら話し合う。	(1)ウ	C (1)ア C (1)ウ C (2)イ	【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C (1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C (1)ウ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。

5月	【話す聞く】 一言でまとめ一言から広げる	話聞1	●言葉の意味を把握し、 具体的なできごとを 考える。	1 グループを作り、一人が最近のできごとや体験を話す。グループの他のメンバーは話の内容を一言でまとめるならばどうなるか考える。次に話す人はその一言から思い浮かぶ体験について話す。他の人でも同様のことを行う。一周したら、誰の話がよかったか、どの一言がよかったか、感想を交流し合う。	(1)イ	A (1)ア イ A (2)ア	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A (1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。A (1)イ 【態度】積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。
私	4	●読書が自分と社会との関わりを支えている、ということを理解する。 ●文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ●作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	1 「学びナビ」を確認し、「記号」と「象徴」の違いについて理解し、「記号」としての「個人情報」という捉え方と『私』というタイトルがどのように結びつくのか、本文にどのように表されるのかを考えながら、通読する。 2 前半部と後半部のできごとを整理し、「私」の「市民対応」と「司書」の「市民対応」を比較したうえで、役所に来た「女性」と図書館に行った「私」は何を問題にし、どのような結果になったのかをまとめる。 3 「二重の情報」に対する「女性」「司書」「私」の捉え方の違いについて考えを交流する。 4 この作品を現実の世界と比較しながら批評し、文章にまとめる。	(3)オ	C (1)ア エ C (2)イ	【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C (1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C (1)エ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。	

	二 写真からは「美しく撮る」という明確な意志が感じられた	薔薇のボタン	2	●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。	1 全文を通して読み、感想や関心をもった点などについて「読書の記録」をとり、記録を使いながら交流する。 2 さらに本の世界を広げるためにビブリオバトルを行う。	(3)オ	C (1)イ C (1)エ C (2)ア	【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C (1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C (1)エ 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
6月		【話す聞く】構成を考えて主張をまとめる	話聞3	●社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。 ●自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。	1 「学びナビ」を読み、「組み立てる」ことについて理解する。社会生活の中から興味があるテーマや課題だと感じるテーマを選び、そのテーマについて自分自身の立場や主張を考えるための資料や事例を探す。 2 全体の構成や論理展開を検討し、スピーチ原稿を作成し、さらに推敲する。 3 スピーチを行い、話の構成について工夫されていたことを話し合う。	(2)イ	A (1)ア A (1)イ A (2)ア	【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A (1)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。A (1)イ 【態度】すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見通しをもって主張しようとしている。
		メディア・リテラシーはなぜ必要か？／新聞が伝える情報を考える	2	●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。	1 『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』を読み、マスメディアによる情報についての理解を深める。 2 教科書P64「学びナビ」を読み、新聞が伝える情報の種類について理解し、同じことを伝える二つの社説の意見の述べられ方について比較する。	(2)イ	C (1)ウ C (2)ア	【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C (1)ウ 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。

		漢字の広場 1 呉音・漢音・唐音	1	●漢字の音の歴史についての理解を深める。	1 「呉音」「漢音」「唐音」について理解を深め、具体的な漢字について漢和辞典で調べたり、空白に共通で入る漢字を選んで熟語を完成させたりする。	(1)ア (1)イ		【知識・技能】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
		文法の小窓 1 助詞のはたらき 文法(解説) 1 助詞のはたらき	2	●助詞のはたらきについて理解する。	1 教科書P70の会話文を読み、助詞(「から」や「の」)の使われ方の違いを比較する。 2 助詞のはたらきについて理解する。	内容の取扱い 2(1)ア (2年 (1)オ)		【知識・技能】助詞のはたらきについて理解している。2年(1)オ 【態度】粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
7月	三 人工知能の進化によって、そのような「知性」観の見直しが迫られている	A I は哲学 できるか	5(書1)	●「哲学」など、筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えながら読む。 ●文章の内容について検討したり、吟味したりしながら筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる。	1 「学びナビ」を確認し、筆者の主張について批判的に読むという手法を踏まえ、筆者の立場やものの見方、考え方に注目しながら全文を通読する。 2 「哲学的な思考パターン」「切実な哲学の問い」の内容について話し合い、筆者のいう「哲学」とはどのようなものか整理する。 3 文末表現に注目しながら、筆者がこれからの人工知能と哲学の関係をどのように捉えているか確認する。また、筆者が「そういうことは当分は起きないと私は予想する。」と述べている理由について確認する。 4 「哲学に新次元を開くことになる」とはどのようなことか自分の考えを伝え合う。 5 「AI は哲学できるか」という題名をつけた筆者の意図について考えたことを文章にまとめる。	(1)イ (1)ウ (2)ア	C(1)ア C(1)イ C(1)エ B(1)ア C(2)ア B(2)ア	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア

							【態度】粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。
【書く】 具体例をもとに説明文を書く	書5	●具体的な事例をもとに一般的な特徴を導く。 ●読み手に説明するために構成を工夫する。	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、「打ち言葉」(メールやSNSで使う言葉や表現方法)の特徴を説明するため、具体例を数多くあげる。 2 具体例から打ち言葉の一般的な特徴を導き出し、読み手の興味をひく構成を考える。 3 文章にまとめる。 4 打ち言葉の一般的な特徴を説明しているかに注意して推敲する。 5 書いた文章を読み合い、適切に一般化して説明できたか確認し合う。	(1)イ (2)イ	B (1)イ B (2)イ	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。B (1)イ 【態度】積極的に文章の種類を選択し、学習の見通しをもって発表のための資料を作成しようとしている。	
漢字の広場 2 熟字訓	1	●熟字訓についての理解を深める。	1 熟字訓についての基礎的な知識について確認する。理解を深めるために、「老舗」「弥生」「固唾」「時雨」などの言葉の読み方と意味を確かめる。	(1)ア (1)イ		【知識・技能】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。	
言葉の小窓 1 和語・漢語・外来語 言葉(解説) 1 和語・漢語・外来語	1	●和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。	1 和語・漢語・外来語の違いや由来を理解し、日常的に使われている言葉の中で気になる言葉について出し合い、辞典で調べ、効果的な使い分けについて考える。	(1)イ (3)ウ		【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ 【態度】粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。	

9月	四 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ	async	3	<ul style="list-style-type: none"> ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読み、『async』と『問いかける言葉』について、筆者の主張とその根拠(主張のよりどころ)に着目しながら通読する。 2 『async』の文章の構成や展開、表現の仕方について、図式化しながら整理する。 3 『問いかける言葉』の文章の構成や展開、表現の仕方について、図式化しながら整理する。 	(2)ア	C(1)ウ エ C(2)ア	C(1)	<p>【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p> <p>【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。</p>
		問いかける言葉	3(話聞1)	<ul style="list-style-type: none"> ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 	<ol style="list-style-type: none"> 4 それぞれの文章の「不寛容」、「新しい」という言葉に着目し、説明の仕方や筆者の主張の、共通点や相違点についてまとめる。 5 それぞれの文章における筆者の主張の仕方を比べながら、表現の効果や読み手に与える印象について話し合う。 6 「不寛容」なことに対するそれぞれの筆者のものの見方や考え方の違いを捉えて、社会のあり方や他者との関わり方について、自分の考えをまとめて話し合う。 	(2)ア	C(1)ウ エ A(1)オ ア A(2)イ	C(1) C(2)	<p>【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ</p> <p>【態度】粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。</p>
		【書く】 説得力のある批評文を書く	書5	<ul style="list-style-type: none"> ●資料を比較して、自分の考えを整理する。 ●伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、比較や関係づけを生かした批評文の書き方について理解する。批評する観点を決めて対象を観察し、気づいた特徴を分析する。 2 判断や評価を伝えやすい構成を考える。 3 効果的な論理展開や書き出し方、まとめ方を考え、批評文を書く。 	(2)ア (2)イ	B(1)ウ ア B(2)	<p>【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ</p>	

				4 批評できているかに注意して推敲する。 5 できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。			【態度】積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。
10月	文法の小窓 2 助動詞のはたらき 文法(解説) 2 助動詞のはたらき	2	●助動詞のはたらきについて理解する。	1 教科書P106を読み、三つの「止められる」には、どのような意味の違いがあるか考え、助動詞のはたらきについて理解する。 2 P287～291のさまざまな事例を使いながら、助動詞を適切に使って自分の意図を正しく伝えられるようにする。	内容の取扱い 2(1)ア (2年 (1)オ)		【知識・技能】助動詞などのはたらきについて理解している。2年(1)オ 【態度】粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
	言葉の小窓 2 相手に対する配慮と表現 言葉(解説) 2 相手に対する配慮と表現	1	●場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。	1 場面や相手に応じた敬語の使い方について、教科書P273～275などのさまざまな事例を使い、練習しながら理解を深める。	(1)エ		【知識・技能】敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。(1)エ 【態度】粘り強く相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
	ニュースで情報を編集する	2(書1)	●ニュースを構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●ニュースを構成する情報を、目的にそって効果的に使う。	1 「学びナビ」を読む。ニュース番組が演出されているということを踏まえたうえで、効果的なナレーションの方法について考える。 2 ナレーションに応じた画像を選択し、ニュース台本を完成させ、画像にそってナレーションを読み、効果的なニュースになっているかどうかを話し合う。	(2)イ	B(1)ア C(1)ウ B(2)イ C(2)ア	【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習の見通しをもってニュースの形式にまとめようとしている。
	実用文を読む	1	●実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。	1 効果的な「お知らせ」の方法について、身のまわりの「お知らせ」の文章を探して読み、文章によってどのような特徴があるのかを調べる。	(1)ウ (2)イ	C(1)ア C(2)ウ	【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【知識・技能】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ

							【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア 【態度】積極的に論理の展開を捉え、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。
五月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり	旅への思い	4	●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。	1 『旅への思い』を通読し、『おくのほそ道』や芭蕉について理解を深める。 2 歴史的仮名遣いに注意して、『おくのほそ道』の文章をノートに書き写し、音読することで、文体の特徴について理解する。 3 「旅立ち」「平泉」「立石寺」のそれぞれに描かれた情景と芭蕉の心情について話し合う。 4 印象に残った句を引用し、句から想像したことも入れて内容を紹介する文章を書く。	(3)ア (3)イ	C(1)ウ C(2)イ	【知識・技能】歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア 【知識・技能】長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
	和歌の調べ	3	●古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。	1 全文を通読したのち、『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』のそれぞれの違いに着目しながら、和歌を声に出して読み、そのリズムを味わいながら、意味を考える。 2 和歌を一首選び、その歴史的背景や作者の心情について調べ、発表する。 3 歌に表れた、自然や人間に対する作者の思いについて考え、話し合う。	(3)ア (3)イ	C(1)エ C(2)イ	【知識・技能】歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア 【知識・技能】長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
11月	風景と心情	3	●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。	1 全文を通読し、歴史的背景についての基礎的な理解を踏まえ、声の出し方や間とり方を工夫して、漢詩を音読したり暗唱したりする。 2 教科書P139「漢詩の表現の特徴」を参照し、それぞれの作品の対句や韻について理解する。 3 歴史的背景を踏まえながら、李白と杜甫の漢詩に描写された情景や作者の心情、表現の工夫について話し合う。	(3)ア	C(1)ウ C(2)イ	【知識・技能】歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。

	最後の一句	2	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	1 全文を通読し、どこに着目したのか、どのような印象をもったのか、意見・感想を交流する。 2 作品解説や森鷗外についての資料を読み、あらためて作品についてどのように考えたか話し合う。	(1)イ (1)ウ (3)オ	C (1)ア C (2)イ	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C (1)ア 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
	漢字の広場 3 異字同訓	1	●異字同訓についての理解を深める。	1 異字同訓についての文章を読み、理解する。異字同訓についての練習問題（意味の違いを確かめる、どのような漢字を書くのがふさわしいか確かめる）を行い、理解を深める。	(1)ア (1)イ		【知識・技能】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
	言葉の小窓 3 慣用句・ことわざ 言葉（解説） 3 慣用句・ことわざ	1	●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。	1 慣用句とことわざについて、教科書P276～278を読み、いろいろな慣用句、慣用句の性質、誤りやすい慣用句やことわざについて、知識を広げたり、実際に使ってみたりする。	(1)イ (3)ウ		【知識・技能】慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ 【態度】粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。

六 地上の道のようなもの	俳句の味わい	2 (書1)	●言葉の意味を掘り起こして読む。	1 『俳句の味わい』を通読し、それぞれの俳句の魅力について話し合う。印象に残った句を選んで声に出して読んだり、批評したりする。 2 「歳時記」を活用し、さまざまな季語について知識を深めたうえで、俳句を創作する。教科書P172～173「俳句を創作して、句会を楽しもう」を読み、句会の全体像をつかんだうえで句会を開催し、俳句の相互批評を行う。	(1)イ	C (1)ウ B (1)エ C (2)イ 内容の取扱い1 (2) (2年B (2)ウ)	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C (1)ウ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。B (1)エ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。
	初恋	1	●表現上の工夫に注意して、暗唱する。	1 「学びナビ」を読む。文体(文語体)やリズムに着目しながら、『初恋』をまずは黙読し、次に音読してみる。それぞれの連で、「われ」は「君」に対してどのような思いをもっているか、それぞれの連に描かれた情景やその変化に注意して考える。「文語定型詩」の特徴が表れている表現を探し、その効果について考える。言葉のリズムや描かれた情景に注意しながら『初恋』を暗唱し、発表する。	(1)イ (1)ウ	C (1)ア C (1)ウ C (2)イ	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C (1)ア 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C (1)ウ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
	12月	故郷	7	●理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ●「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。	1 「学びナビ」を読み、一人称視点と三人称視点の語り方の違いが小説の表現に及ぼす特徴について理解したうえで、『故郷』が一人称で語られている効果について着目しながら全文を通読する。 2 作品を五つの場面に分け、小見出しをつける。できごとを時間の順序に従って並べ替え、なぜそのような順序で構成されたのかを考える。 3 「私」の記憶の中にある故郷と現在の故郷の風景の様子を比べ、その描写の違いがもたらす印象について考える。	(1)イ	C (1)ア C (1)イ C (1)ウ C (1)エ C (2)イ

				<p>4 「閩土」はどんな人物か、「私」にとって、どのような存在であったのか、一人称視点で語られていることを踏まえて整理し、考えを深める。</p> <p>5 「楊おばさん」と「閩土」について、「私」に対する二人の気持ちを想像し、過去と現在に分けてまとめる。また、現在の二人のことを「私」はどのように捉えているか、意見を交流する。</p> <p>6 「思うに希望とは、……歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」について、「閩土」と「私」の「希望」は、どのように異なるのか考える。また、「私」の捉えている「地上の道」とはどのようなものなのか考える。</p> <p>7 『故郷』を読み、考えたことについて文章にまとめる。</p>			<p>【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p> <p>【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>
	【書く】 自己PR文を書く	書2	<ul style="list-style-type: none"> ●読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ●読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。 	<p>1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、書くための材料を集める。構成を検討して自己PR文を書き、推敲する。</p> <p>2 自己PR文を読み合って検証し、書き直す。</p>	(2)ア	B(1)オ B(2)ア	<p>【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ</p> <p>【態度】粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。</p>
	【話す聞く】 表現の工夫を評価してスピーチをする	話聞2	<ul style="list-style-type: none"> ●相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ●場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。 	<p>1 「学びナビ」を読み、「限定する」ことについて理解する。スピーチの目的や、スピーチする相手を理解し、状況に合わせたスピーチについて理解したうえで、中学校生活を振り返るためのスピーチ内容について考える。自分の考えを「誰に対して」「どのような場所で」「どのような言葉で」「どのように」伝えるかなどを想定して、スピーチ原稿を作成する。</p> <p>2 場面を想定したうえでスピーチをする。スピーチをお互いに評価し合い、表現の改善に生かす。</p>	(1)イ	A(1)ア ウ A(2)ア	<p>【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。A(1)ウ</p>

								【態度】積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって主張しようとしている。
		漢字の広場 4 四字熟語	1	●四字熟語についての理解を深める。	1 四字熟語についての文章を読み、基本的事項について理解したうえで、練習問題を解き、さらに理解を深める。	(1)ア (1)イ		【知識・技能】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア 【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【態度】粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
1月	七 生命は、恒常的に見えて、いずれも一回性の現象である	持続可能な未来を創るために――人間の生命・存在を考える／生命とは何か／地球は死にかかっている／水の星	3（話聞書 1 書 1)	●持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。	1 教科書P220～224を読み、「最初の『問い』」を考える。 2 P225～227を読み、「次の『問い』」について話し合う。 3 P228を読み、「最後の『問い』」について自分の考えを書く。	(2)ア	A (1) オ B (1) ウ C (1) エ A (2) イ B (2) ア C (2) ア	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A (1)オ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B (1)ウ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C (1)エ 【態度】粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。
		【話す聞く】意見を共有しながら話し合う	話聞2	●相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。	1 「学びナビ」を読み、「一般化する」ことについて理解する。環境問題や資源の有限性について、自分が興味・関心をもっていることを具体的にあげる。	(1)エ (2)ア	A (1) ア A (1) エ A (1) オ A (2) イ	【知識・技能】敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。(1)エ 【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア

			<p>●話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。</p>	<p>その中から、持続可能な社会の実現に向けてできることについて考えをまとめる。グループでお互いの意見を出し合い、共通点や相違点を整理し、グループで意見をまとめる。</p> <p>2 グループでまとめた意見をクラスに向けて発表する。他のグループの意見を参考にしながら、持続可能な社会の実現に向けてできることについて、クラスの多くの人が納得できる結論について考える。</p>			<p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。A(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ</p> <p>【態度】積極的に相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。</p>
2月	【書く】 情報をまとめて作品集を作る	書4	<p>●自分の文章の収集と整理をする。</p> <p>●学習を振り返り、読みに自分の思いが伝わる作品集を作る。</p>	<p>1 「学びナビ」を読み、情報をまとめて作品集を作り、学習を振り返るための材料にすることを理解し、作品を集め、作品集のテーマを決め、作品集に入れる作品を選ぶ。</p> <p>2 編集する。(全体の構成を考えながら、作品を並べる。)</p> <p>3 製本する。</p> <p>4 友達と読み合う。</p>	(2)ア	B(1)ア B(2)イ	<p>【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【態度】積極的にこれまでの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。</p>

3月	人間というのは、どこまでいっても自分以外にはなれないものだ	バースデイ・ガール	2	●自分の読書生活を振り返り、さまざまな本や文章を読む。	1 作品の構成について、語りの構造に注意しながらまとめる。もし自分が二十歳の「彼女」であったら、どんなことを願うかという「問い」を手がかりに、この作品についての互いの考えを交流する。 2 村上春樹の他の作品を読んでみる。	(1)イ (3)オ	C (1)エ C (2)イ	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C (1)エ 【態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
		青春の歌	1		1 現代短歌とその批評を読み、短歌の世界の魅力にふれる。	(1)イ (3)オ	C (1)エ C (2)ア	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C (1)エ 【態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして批評しようとしている。
		やわらかな想い	1		1 教科書P30～31の学びナビ「<私>という記号」を読み返しながら、『やわらかな想い』で使われている「記号」にどのような効果があるのかを考える。	(1)イ	C (1)エ C (2)イ	【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C (1)エ 【態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。